

行事／取組名称	Jr チャレンジ in 津山 ジュニアードクター・プレイベント		
担当者	佐藤誠、原田 勲 (JPh0)、津山高専、岡山理大 教員多数		
開催日時・期間	2019年6月15日(土)	会場	津山工業高等専門学校・体育館
主催	津山高専・Jr ドクター育成塾	後援	
協力	物理オリンピック日本委員会		
協賛			
概要			
津山工業高等専門学校は、子供たちの科学教育に熱心に取り組まれ、平成30年度のJST「ジュニアードクター育成塾」に採択された。一方、過去15年に及ぶ岡山地域大学連携(津山高専を含む)の活動を基盤に、今回ジュニアードクター育成塾のプレイベントとして開催された催しに、JPh0もその一部を担ってブースの出展を行い、物理オリンピックの宣伝や科学現象の興味深さを実感させる実験工作を行った。そのため、岡山から原田が出向いて対応した。			
参加者 教員	高校生	中学生・小学生(保護者)	
多数名	高校生0名	72名(約60名)	

報告事項
<p>津山高専のジュニアードクター・プレイベントは11のブース出展と科学ショー、ラボツアーからなり、13:00から16:00の3時間にわたって多くの参加者や保護者が科学実験を体験した。一方、お手伝い学生、教員は参加者に対応するため、忙しい時間を過ごした。</p> <p>JPh0は「偏光板でスタンドグラス」と銘打って、セロテープをランダムに張り付けた透明板(前もって絵を描いた)を2枚の偏光板で挟んでみると、スタンドグラスのような細かい様々な色のついた絵模様色を見出し、科学の不思議さを体感した。毎回3~4名づつ計10組ほどで実験工作を行い、その後短く現象の説明を行った。</p> <p>この様な現象を理解するために、2枚の偏光板を互いに回転させると暗くなったり明るくなったりすることより、光には横波として2つの偏りがあることを気づかせた。一方、PCの液晶ディスプレイは1枚の偏光板の回転でも暗くなったり明るくなったりするので、液晶ディスプレイは一方向の偏りを持つ光のみ発光していることなども学ばせた。</p> <p>この様な内容はあまり理解出来ない子供たちもいたが、それでも楽しく友達と議論しながら考えたり、普段あまり触れないような偏光板を興味深げに操作し、指導者の指示に従って最後まで頑張る姿が印象的であった。</p> <p>大雨の中での開催であったが、他のブースも含めてジュニアードクター・プレイベントは大変盛況のうちに終了した。この様なイベントが小さな子供たちを刺激し、彼らが明日の科学者として羽ばたくことを期待している。</p> <p>最後に、この様なイベントを企画し、子供たちに科学現象に対する興味を持たせる取組を継続されている津山高専に、敬意を払うとともに感謝を申し上げる。</p>



JP hO の実験・工作ブースでの様子 (photos by Arimoto・Tsuyama-city)

